

わかる授業

楽しい授業

づくり

～教育の情報化～



川西市では、魅力ある、地域に信頼される学校づくりの推進の一つとして「学校におけるICT(情報通信技術)の活用」を掲げております。そこで、国の補正予算による「学校ICT環境整備事業」を活用し、学校における教育の情報化を進めています。

教育の情報化とは「情報教育(児童・生徒の情報活用能力の育成)」「ICTの活用(教員の授業力向上等)」「校務の情報化(学校事務の効率化等)」の3つの柱から成り立っています。これらを進めるために、テレビのデジタル化、校務・教育用コンピューター、校内LAN、周辺機器等の整備を行っています。

学校現場では、すでにプロジェクトや実物投影機などを利用した授業が展開されています。例えば、教科書や教材、子どもたちの作品をスクリーンに映し出し、手元の操作を大きく映したりすること、より効果的にわかりやすく授業が進められています。また、

教員にとっても事務の効率化などにより、子どもと触れあう時間の確保につながります。さらに、平成21年10月より、市内小・中・特別支援学校に12名のICT支援員を配置しています。

ICT支援員は、川西市立学校における教育の情報化の推進・充実に努め、子どもたちや教員の情報化に対する支援及び研修を行うために配置しています。子どもたちのコンピュータ操作などのサポートや、授業でのICT機器活用支援や教材開発などを行っています。

授業の内容がわかりやすいね!



た、インターネット上の様々なデジタルコンテンツ(教材)を使用することで、子どもたちは理解を深めています。「分度器の使い方がよくわかった」「発芽の様子が詳しくわかった」など、集中して楽しく取り組んでいる子どもたちが増えています。

これらは、特別な準備を要するわけではなく、各学校の普段の授業ですぐに扱えるようにするものです。今後、子どもたちの理解をより深めることができる「わかる」「楽しい」授業を目指し、様々な教育環境の整備を進めていきます。

(お問い合わせ)
教育情報センター ☎(758) 86800

笑顔



地域を歩いていると、多くの人に出会います。道端に捨てられたごみを拾っている人、子どもたちの登下校の安全を見守っている人などに出会っていると本当に頭が下がります

◆先日、学校帰りの二人連れの女生徒に出会いました。一人はマスクをしていました。しばらくすると後ろから「お大事に。」と言って別れる声が聞こえてきました。友だちを気遣う優しさに、私の心まで温かくなりました◆しかし、今、人と人のつながりは希薄になり、人を思いやる心や我慢する心が育ちにくい社会状況があります。学校では、地域の方々の応援をいただきながら、社会体験や自然体験を重視した心の教育にも力をいれています◆大人同士が心をつなぎ、目をかけ声をかけあいながら地域全体で子どもたちを見守り、健やかに育ってくださることを願っています。

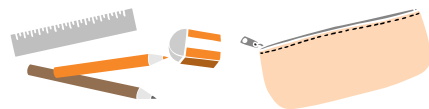
竹中登代子
(川西市教育委員会)

伊丹学区公立高等学校 新しい選抜制度について

平成21年度より、伊丹学区へ新しい選抜制度（複数志願選抜制度・特色選抜制度）が導入されました。複数志願選抜制度・特色選抜制度は、学校の特色や自分の適性・進路希望などに応じて、学びたい学校が選べる選抜制度です。



- ① 特色
 - ・個性や能力に応じて学校を選択し、1校または2校を志願できます。
 - ・第1志望を優先させるため、第1志望校には一定の加算点を加え合否判定を行います。
 - ・出願時に希望していれば、第1・第2志望校がどちらも不合格の場合でも、総合得点によっては、いずれかの公立高校に合格できます。
- ② 対象校
 - 県立伊丹高校、県立伊丹西高校、市立伊丹高校、県立川西明峰高校
 - 県立川西緑台高校、県立川西北陵高校 県立猪名川高校

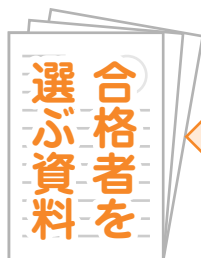


伊丹学区の入学者選抜

一般入試の試験内容・合否判定方法

調査書

- ・中学校3年間の各教科の学習の記録
- ・学習の記録の参考事項
- ・生徒会活動、学級会活動、学校行事等の特別活動と部活動 等



学力検査

- ・国語、社会、数学、理科、英語の5教科
- ・検査時間は各教科50分
- ・英語にはヒアリングテストが含まれます（10分間）

調査書と学力検査の取り扱いについて

調査書(計250点)、学力検査(計250点)の合計500点満点で合否判定が行われます。

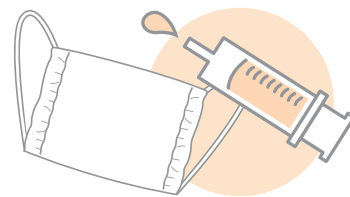


	国語	社会	数学	理科	英語	小 計	音楽	美術	保体	技家	小 計	合 計
学力検査	100 ÷2	100 ÷2	100 ÷2	100 ÷2	100 ÷2	250	学力検査はありません				250	
学習評定	5×4	5×4	5×4	5×4	5×4	100	5× 7.5	5× 7.5	5× 7.5	5× 7.5	150	250
総 合	70	70	70	70	70	350	37.5	37.5	37.5	37.5	150	500

※5教科は学習評定×4点 4教科は学習評定×7.5点をかけて500点満点に換算します

平成22年度兵庫県公立高等学校入学者選抜における新型インフルエンザの対応について

平成22年度兵庫県公立高等学校入学者選抜について、新型インフルエンザ対策として、新型インフルエンザに感染、またはその疑いのある受検生の受検機会の確保を図るため、追検査を実施することが兵庫県教育委員会から発表されました。



● 追検査の日程

公立高等学校の学力検査及び単位制による課程(多部制) I 期試験

	入学者選抜要綱の日程	変更後の日程
本 検 査	平成22年 3月12日(金)	平成22年 3月12日(金)
追 検 査		平成22年 3月17日(水)
合格者発表	平成22年 3月19日(金)	平成22年 3月23日(火)

受検生のみなさんは、手洗い、うがいの励行、咳エチケットの徹底を行い、受検に向けて健康管理に留意しましょう。

追検査の具体的な内容については、各学校を通じて受検生、保護者のみなさまにお知らせするとともに、兵庫県教育委員会のホームページ等で公開されます。

（お問い合わせ） 学校教育課 ☎(740)1254へ



こどもとしょかんだより

コロボックル



中央図書館では、年に4回、こどもとしょかんだより「コロボックル」を発行しています。

表紙は子どもたちが書いてくれた絵を飾りますが、多数の子どもたちの力作が揃うので、選ぶのにも苦労しています。

内容は、絵本の読み聞かせ等を行う「おはなしのくに」の日程や、子ども向け行事のお知らせを数多くのせるようにしています。

「コロボックル」は、中央図書館だけでなく、保育園・幼稚園・小学校・中学校・公民館等にも配布していますので、気軽にご覧ください。

また、1月発行の冬号からは、図書館のホームページからも見るできるようになりますので、ぜひお試しください。



(お問い合わせ) 中央図書館 ☎(755)2424へ

いにしえのかわにし⑩

川西市郷土館

アトリエ平通オープン

1月の郷土館行事
「コマ遊びの集い」
とき：1月17日(日) 午前10時～正午
費用：200円(中学生以下は無料)
講師：枇杷紘一郎



(お問い合わせ)
川西市郷土館
所在地：川西市下財町4番1号
電話：☎(794)3354

このたび、市内北部の下財町にある郷土館に新たな施設ができます。「アトリエ平通」です。川西市ゆかりの洋画家である平通武男画伯のご遺族から、川西市の芸術文化の発展、向上のためにご寄付がありました。これを受け、平通画伯を顕彰する施設を建設し、ご遺族からあわせてご寄贈いただいた画材や家



具を利用して建物内に配置し、画伯のアトリエを復元することにしました。また、この施設では、絵画教室等の場としての活用ができるように考えています。

郷土館には、この施設のほかに、平通画伯の作品と、同じく川西市ゆかりの日本画家である青木大乗画伯の作品を展示しているミュージアムホール、大正期に建てられた国の登録文化財にもなっている旧平安家住宅と旧平賀家住宅、敷地内に広がる平安製錬所跡と関連資料を展示した鉾山資料展示室、一色八郎氏コレクションである著の展示室があり、芸術的、歴史のみどころが満載です。ぜひ一度、郷土館へお越しください。

ふれあい交流会

市内の小学生が

中学校で授業を体験

川西中学校

8月4日に川西、川西北、桜が丘小学校の児童5人が参加して、川西中学校で「小・中ふれあい交流会」が行われました。この交流会は、小学生が中学校での部活動を体験することなどで、小・中学校の連携を図ることを目的として5年前から活動している「部活動小・中交流会」を中心に行われたものです。その中でも、「小・中ふれあい交流会」は、部活動に興味のない子どもたちにも中学校の雰囲気を感じ取ってもらうためにはじまりました。この日は、



どうすれば、いいのかな？

会議室で自己紹介、当日の活動の説明のあと、理科室でヒラギの葉を使った「しおり作り」の授業が行われました。そのあとの授業では、「しおり作り」についての新聞を作るといふ作業を進めました。しおり作りを撮影した写真を貼り付けたり、思い思いの絵を描いたりしながら、グループ別にそれぞれが個性のある新聞を作成しました。いずれの作業についても、生徒会のメンバーが率先して、作業の指導、手伝いをしました。川西中学校の生徒会のメンバーは「今日は小学生と仲良くなれてよかった。この中学校がどんなところか知って帰ってほしい」

参加した子どもたちは「今日はドキドキしていたけれど、中学校の先輩と一緒に色々なことができて楽しかった」と話していました。

環境体験学習

森ワークでの取り組み

北陵小学校

北陵小学校では環境体験学習として、2年前から3年生が近くにある新開の森で「森ワーク」という活動に取り組んでいます。人工的な自然にしか触れたことのない子どもたちに、本物の自然

理科おもしろ実験

「溶かされる人体」などをテーマに

多田小学校

10月23日、多田小学校6年生を対象に「理科おもしろ実験」の授業が行われました。これは、平成20年から兵庫県教



育委員会「理科おもしろ推進事業」のひとつとして実施されているものです。小学校5、6年生を対象に、理科の授業で理科推進委員や、特別講師をまねいて、観察・実験活動等における教員の支援や、先端科学技術に関する実験等の演示・体験活動などを行うことよって、小学校の理科授業の充実・活性化と理科指導力の向上を図ることを目的としています。

この日は理科推進委員の叶野慎一郎さんを講師に、「溶かされる人体」「飲み物おやつマジック」「牛乳をたべる」などのテーマで、授業が行われました。「溶かされる人体」の実験では、アルカリ性トイレット洗剤と酢に髪の毛を浸すと、髪の毛が溶けてしまうことを実際に見せてもらい、子どもたちはとても驚いていました。また、「飲み物おやつマジック」では、紅茶にし



輝く瞳

(お問い合わせ) 学校教育課 ☎(740)1254へ

モンを入れ、水溶液の色を薄くしたり、蜂蜜を入れ黒くしたりして、身近な食べ物でも科学変化が起るのだということ学びました。叶野さんは、「この授業では、身近な食べ物などを使いつつ、実験を行っています。子どもたちの理科はなれが危惧されている昨今、実験に親しみを持ってもらうことで、理科という科目に興味を持ってもらいたい」と話していました。

（環境のために手を加えています）が、触れさせ、自然を維持しようとして努力されている人の存在に気づかせるために「総合的な学習の時間」の単元として価値のある活動を行っています。

10月21日には3回目の「森ワーク」として、「たき火体験」「自然の材料を使った作品作り」「植樹と下草刈り」の活動を行いました。活動の後には、やきいもタイム



初めて使う火吹き竹